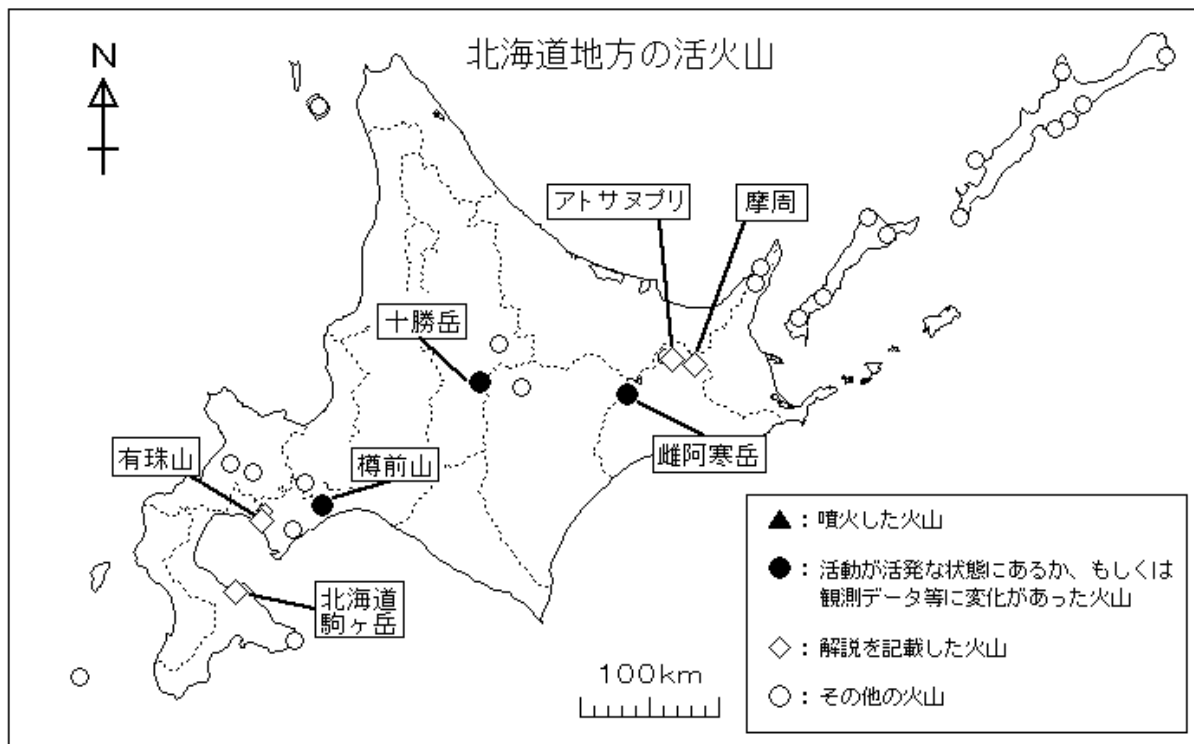


北海道地方の火山活動解説資料（平成 17 年 2 月）

札幌管区气象台 火山監視・情報センター



2月の北海道内の火山活動は先月と比べて変化はなく、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山ではやや活発な状態が続いています。

雌阿寒岳

ポンマチネシリ 96-1 火口は高温の状態が続いていると推定され、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

十勝岳

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続いていると推定され、火山活動は引き続きやや活発な状態です。今後も、2004年2月と4月に観測されたような火山灰混じりの有色噴煙が見られる可能性があります。

樽前山

A 火口やB 噴気孔群は高温の状態が続いていると推定され、火山活動は引き続きやや活発な状態です。火口近傍では注意が必要です。

有珠山

火山活動は静穏な状態が続いています。

北海道駒ヶ岳

火山活動は静穏に経過しています。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている弱い噴気は引き続き観測されています。

摩周・アトサヌプリ

北海道開発局の協力を得て、摩周、アトサヌプリで上空からの観測を行いました。これらの火山で異常は認められませんでした。

測地基準系移行のお知らせ

平成17年2月1日より、火山の位置・観測点・震源の位置を世界測地系に準拠したものに移行しています。